



【電話相談／仙北市保健課】
《固定電話》 ☎ 43-2252
《携帯電話》 📞 080-2813-0835

仙北市子育て世代包括支援
センター「なないろ」
妊娠期から子育て期までの切れ目
ない支援をします。



仙北市ホームページ
はコチラ！



こどもの症状別 救急法について

元気に過ごしていたこどもが突然熱を出したりして体調を崩すことがあります。こどもは、容態をうまく訴えることができません。そんな時、どのように対応したらよいか知っておくことが大切です。

症状	おうちでの対応	受診の目安
発熱	・こまめに水分補給をさせる。 ・氷枕や冷却シートを使って体を冷やす。 ・汗をかいたらよく拭き、着替えさせる。	熱があっても機嫌よく遊んでいたりと、睡眠がとれるようなときであれば、慌てずに様子をみましょう。食事がとれない、機嫌が悪い場合は受診しましょう。
咳	・気温の急激な変化を避け、乾燥には注意する。 ・せきこんだら前かがみの姿勢をとらせ安静にする。	せきこみ、顔色が悪くなった時や、呼吸がヒューヒュー、ゼーゼーしており、苦しそうな場合は受診しましょう。
嘔吐	・吐いたものが気管に入らないように、横向きに寝かせる。 ・吐き気が止まったら、水分を少量ずつ与える。 ※オレンジなどの柑橘系の飲み物や炭酸飲料、牛乳などは、吐き気を増強させるので注意	吐く回数が多いときや意識がぼんやりしているとき、尿が半日以上でないときなどは、早めに受診しましょう。
下痢	・おしりがただれやすいので、温かいタオルで拭いたり、お尻を洗ったりして清潔を保つ。 ・水分補給を十分に行う。できるだけ湯冷ましや麦茶等を多く与える。	下痢の回数が多い、機嫌が悪かったり食欲がない、発熱や嘔吐を繰り返すときは受診しましょう。
やけど	・急いで冷たい水で冷やす。衣類を着ている場合は、脱がさずそのまま冷やす。 ・やけど部分に触らないようにし、清潔を保つ。水ぶくれになっている部分はつぶさない。	やけどをした部分が広く、深いほど危険です。やけどの重傷度の判断は難しいため、判断がつかない場合は受診しましょう。

受診する際のポイントについて

- ・保険証、母子健康手帳、お薬手帳を忘れずに持っていく
- ・症状が出てからの体温や便、尿などの状態や経過をメモしておく

こども救急電話相談室について

秋田県では、夜間におけるこどもの病気への対応方法や応急処置などを相談できる「こども救急電話相談室」を毎日開設しています。受診について判断に迷うときにお気軽に電話で相談してください。

◆毎日 19:30～22:30

◆電話番号 018(895)9900 #8000 プッシュ回線固定電話、携帯電話からかけるとき